

# あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第502号 発行日 令和元年9月1日

## 3階合同夏祭りを開催しました

3-2 福祉職

今年のテーマは「キャンプだ、ホイ!」。ハードなイメージのキャンプではなく、今、女性に人気となっているおしゃれと可愛いをコンセプト大切にした「メルヘンキャンプ」を利用者さんと御家族と一緒に体験できる企画です。参加者に花や星の飾りでテントをかわいく装飾してもらい、3階の利用者さん一人ひとりが療育活動で制作した旗を天井に掲げると、メルヘンキャンプの始まりです。

各病棟にあるキャンプ場では、バーベキューを体験する「ジュージュージュー焼けたかな」ゲームを行いました。どの串を焼くかを決めてから、皆で一緒にジュージューと5回言ってから取り出し、串の中から出てくる点数が獲得点となります。利用者さんは御家族の方と一緒に、周りのジュージューという声に合わせて口をあけたり、焼ける音に首を振りながら楽しんだりしている様子もうかがえました。

次の「どうぶつゲット」ゲームでは、水風船を的の動物に向かって投げ、当たった的の点数に加え、水風船が割れると更に50点がサービス点となります。総合優勝したのは最終成績で300点を獲得した利用者さんです。天井からゆらゆらと釣り下がった空飛ぶヘリコプターに乗っているブタに命中。誠にお見事でした。



## サマーコンサートを開催しました

4-2 福祉職

今年の8月の誕生日会&サマーコンサートは、ボランティアの「若松リコーダー隊」の方々をお招きしました。夏休み期間中だったので、小中学生のメンバーの方が参加してくださいました。大人のメンバーだけの時とはまた違った雰囲気の中で、演奏していただいたジブリの曲に振り付け、みんな一緒に踊りました。その他にも「線路は続くよどこまでも」や「赤いスイートピー」など懐かしい曲も聞くことができました。

8月に誕生日を迎えた2名の利用者さんは、ハッピーバースデーの演奏でお祝いしていただき、緊張しながらも嬉しそうでした。他病棟からの参加者も多く、手に持った鈴やマラカスを振り、賑やかに楽しいひと時を過ごすことができました。本番前に急遽ベッドサイドでの演奏をお願いしたにも関わらず快く演奏していただき、呼吸器使用の方や体調不良の方も生演奏を間近で聞くことができたのは貴重な体験だったと思います。みんなが思い思いにコンサートを楽しめました。



## 1階合同お楽しみ会「夏祭り」

1-A 穴沢 道晴



7月17日（水曜日）に、1-A病棟と1-B病棟では合同お楽しみ会「夏祭り」を開催しました。それぞれの病棟のデイルームや中庭、大部屋に加えて浴室も会場となり、賑やかなお祭りになりました。

病棟の中では、大きな和太鼓を叩く「太鼓どンドン」、マグネットの付いた竿を用いた「釣り堀」、色とりどりの風船をすくう「風船すくい」、アロマやキャンドルでゆったりとした雰囲気味わう「スヌーズレン」を開催しました。さらに中庭では、風に揺られて飛んでいく「シャボン玉」や、様々な大きさの氷を使って表現に工夫を凝らした涼しげな「氷の世界」など、どのコーナーに行こうか迷うほどでした。

この日の締めくくりには、両病棟の皆さんが集まってピニャータゲーム（くす玉割り）を行いました。利用者さんたちの期待にあふれた熱いまなざしが集まる中、カラフルなピニャータを割ると、中から綿菓子やチョコがたくさん飛び出して一層多くの笑顔と歓声に包まれました。

今回は2つの病棟が合同して開催したため、いつもより多くの企画を実施でき、とても楽しい夏祭りとなりました。暑い日々が続きますが、この時期だけの楽しみを見つけ、元気に過ごしましょう。



## サンバが病棟にやってきた！

2-A 福祉職

7月19日（金曜日）、2-A病棟では夏のお楽しみ会として「サンバユニット・アミーゴ☆」さんによるサンバダンスの鑑賞会を行いました。

昼食の後、ステージとなるデイルームの一角を囲むように集まると、南国の軽やかでリズムミカルな曲が流れ始め、「アミーゴ☆」の皆さんが登場しました。キラキラした衣装にカラフルな羽を付け、踊りながら入場してきたダンサーさんに、利用者さんはびっくりしたような表情や、恥ずかしそうに下を向いてしまう姿が見られました。利用者さんもタンバリンや鈴を持ち、リズムに合わせて鳴らします。曲が変わるごとに手拍子や楽器の音が大きくなり、利用者さんの動きも大きくなっていき、笑顔や発声が多く見られました。一緒に参加された御家族の方やスタッフも汗をかき、ノリノリ♪な気分で楽しみました。

最後に、利用者さん数名ごとにアミーゴ☆さんと写真撮影を行いました。その間もサンバの音楽が流れていて、楽しい雰囲気が続いていました。

そんな楽しい時間もあっという間に終わってしまいましたが、病棟の壁に飾ったアミーゴ☆さんとの写真を見て、楽しかった時間を思い出しています。そしてまた、来年もみんなでノリノリ♪に楽しめたらいいなと思います。



## 夏の企画「レッツゴー！サマーツアー」

指導科 石田 泰美

7月24日（水曜日）と25日（木曜日）に、指導科夏の企画「レッツゴー！サマーツアー」を行いました。あじさい館に作られた観光地を巡るツアーに、いざ出発です！

館内に入ると、まず飛行機の搭乗ゲートがあります。ゲートを通してそのまま進むと、パイナップルやマンゴの香りがする沖縄に到着です。青い海を模した装飾を施した会場には、砂浜に見立てたペットボトルキャップの山から熊手を使って「当たり」

のキャップを掘り出す「宝探し」や、利用者さんと一緒に作った首里城の門の前での記念撮影、更には南国気分のトロピカルジュースとオリオンビール（ノンアルコールです）のお店が開店しました。宝探しでは、ペットボトルキャップを掘るガラガラという音が海の波の音のように聞こえ、当選した利用者さんが、「府中市手作りおもちゃの会」の方々が作って下さった景品のマスコットを、どれにしようかと真剣に選んでいました。天井には魚やエビたちの風船が浮かび、ひもを手繰り寄せて近づけると、じっと見ていた利用者さんが大笑いしていました。

南の沖縄からぐっと北の東北地方へ出発です。鮮やかな原色の世界から雰囲気が大きく変わって光の世界です。東北の三大夏祭りを味わってもらおうと、利用者さんがグループ活動で制作した提灯で「秋田竿灯祭り」を、大きなくす玉飾りが有名な「仙台七夕祭り」を再現しました。「青森ねぶた祭り」はにぎやかな映像が流れる中で、福島の灯籠流しを模した「灯籠レース」を行いました。赤・黄・緑と色とりどりの光をまとった灯籠のうち、どれが一番早くゴールするか決めると、カウントダウンとともに一斉にスタート。予想が当たると歓声があがり、やったー！と嬉しそうに景品を選んでいました。景品の中では、虫除け効果のある腕輪やバッジが人気を集めていました。透ける光が幻想的な提灯の竿灯と、バブルユニットの光が当たった水風船の竿灯は美しく、多くの方がじっと見とれていました。



現センターで行う最後の「夏の企画」は、夏の旅行というテーマで締めくくりました。来年以降は新しいセンターで、利用者さんとともに楽しめる企画を作っていきたいと思います。

また、運営には2日間で述べ6名のボランティアの方が参加して下さり、利用者さんや御家族の方、職員と交流し、ゲームの補助や雰囲気作りに御協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

## 障害者総合美術展に入所者さんの作品が入賞しました

指導科 川手 浩一

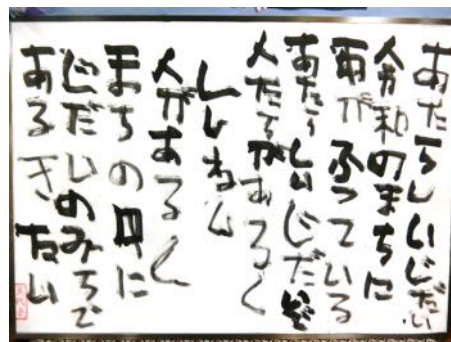
障害のある方の文化・芸術活動の発表の場として、東京都では「東京都障害者総合美術展」を毎年開催しています。その第34回目となる今年的美術展が、西武池袋本店の催事場で7月26日（金曜日）から31日（水曜日）まで開催されました。

今年は697点の応募作品の中から約200点が入賞作品として展示され、入所者のKさんとMさんの2名の作品が、書と絵画の部門でそれぞれ見事に入選し、展示されました。7月26日には、入選されたお二人が美術展を鑑賞に行き、すばらしい入賞作品や入選作品の中に御自分の作品が堂々と飾ってあるところを見て、大感激していました。

さらに、たくさんの見学者の方が美術展に来場されている様子を見て、より一層の創作意欲がわき、次の展覧会にもぜひ出品しようと決意を新たにされておりました。



Kさんの作品『あ。の。滑り台「雪」』【絵画部門入選】



Mさんの作品『あたらしい じだい』【書部門入選】

## 総合防災訓練を実施しました

事務室 齋藤眞殊

7月23日（火）、府中消防署栄町出張所の方をお招きして総合防災訓練を実施しました。

毎月実施している病棟での防災訓練終了後、消防署の方の御協力により、消火栓を使つての放水訓練や、消火器を使つての消火訓練、更には防災に関する講話をお話しいただき、参加した51名の職員がそれぞれ防災に関する意識を高めました。

府中療育センターでは11月にも、地震を想定した総合防災訓練の実施を予定しています。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>